

IRミーティング

2013年3月期 第2四半期決算概要

科研製薬株式会社

2012年11月7日

「あなたに笑顔」科研製薬の願いです

注意事項

- 本説明資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。
- 新薬が発売されるまでには、多額の資金と長い開発期間が必要となります。有効性と安全性を確認しながら慎重に開発を進めていくうちには、開発中止となる可能性があります。
- 「開発テーマの状況」は、現時点の開発計画に基づいて作成しております。開発計画の進行に伴い、変更等が発生する可能性があります。

2013年3月期 第2四半期損益実績(連結)

(百万円未満切捨)	2012年3月期 4-9月実績	2013年3月期 4-9月実績	増減	前期比 (%)
売上高	43,692	43,523	▲168	99.6
営業利益	7,906	7,601	▲304	96.1
経常利益	7,719	7,395	▲324	95.8
第2四半期 純利益	4,607	4,616	9	100.2

•薬価改定の影響を吸収するまでには至らず

•販管費:13,687百万円

•中間配当は22円
(2円増配)

連結貸借対照表

借方

貸方

(百万円未満切捨)

	2012年 3月期末	2012年 9月末	増減		2012年 3月期末	2012年 9月末	増減
流動資産	63,214	62,619	▲595	流動負債	36,354	37,517	1,163
固定資産	41,893	44,286	2,392	固定負債	6,682	6,829	146
資産合計	105,108	106,906	1,797	負債合計	43,036	44,346	1,309
				純資産合計	62,071	62,559	487

主な内容 (百万円未満切捨)

- ◆資産 現金及び現金同等物：16,519百万円
- ◆負債 有利子負債：8,390百万円
- ◆純資産 利益剰余金：41,521百万円 (+2,849百万円)
- 自己株式：14,765百万円 (+2,172百万円)

※ B/S上は純資産の減算項目です

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨)	2012年3月期 4-9月実績	2013年3月期 4-9月実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,981	5,641
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,607	▲3,035
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲5,120	▲3,938
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,288	16,519

※ 営業活動によるキャッシュ・フロー
税金等調整前四半期純利益: 7,390百万円

※ 投資活動によるキャッシュ・フロー
有形固定資産の取得: 2,408百万円

※ 財務活動によるキャッシュ・フロー
自己株式取得額: 2,172百万円
配当金支払額: 1,765百万円

売上内訳(連結)

(百万円未満切捨)	2012年3月期 4-9月実績	2013年3月期 4-9月実績	増減	前期比 (%)
医療用医薬品・医療機器	39,058	38,706	▲352	99.1
農業薬品	1,447	1,598	151	110.5
不動産賃貸料	1,213	1,208	▲4	99.6
その他	1,973	2,010	36	101.9
合計	43,692	43,523	▲168	99.6

医薬品・医療機器の売上実績内訳

(百万円未満切捨)	2012年 3月期 4-9月実績	2013年 3月期 4-9月実績	前期比 (%)
アルツ	16,481	16,253	98.6
セプラフィルム	4,955	5,145	103.8
アドフィード等	4,015	3,479	86.6
プロサイリン	2,813	2,447	87.0
リピディル	1,974	2,012	102.0
フィブラストスプレー	1,988	1,945	97.8
エブランチル	1,084	1,078	99.4
ジェネリック医薬品計	4,049	4,531	111.9

・アルツ

売上数量は伸長するも、薬価改定の影響を吸収するまでに至らず

・セプラフィルム

外科の消化器がん、産婦人科の帝王切開および婦人科がんへの使用拡大により伸長

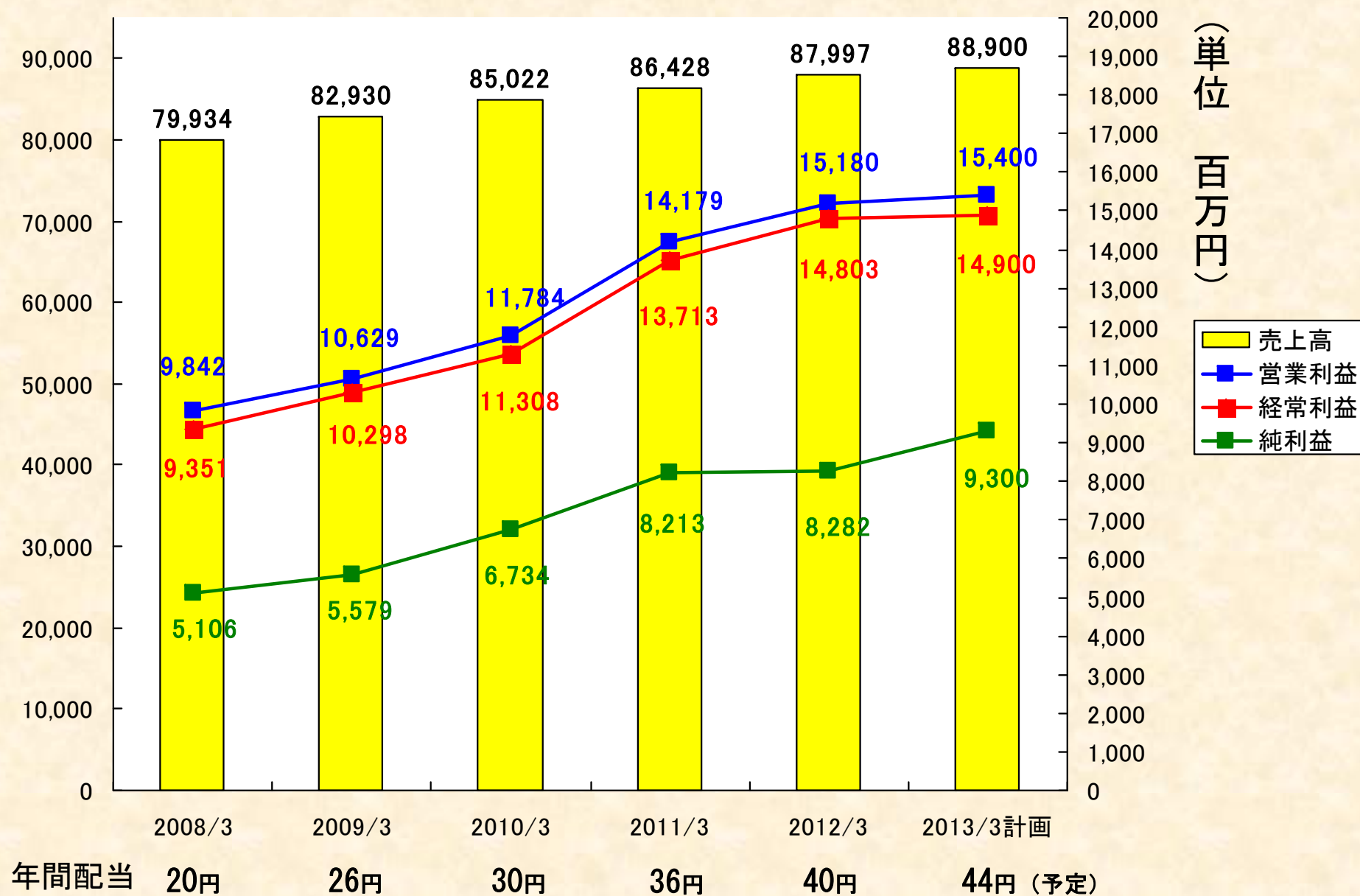
・リピディル

飲みやすくなった錠剤が使用拡大につながり伸長

・ジェネリック医薬品

既存の製品を中心に伸長

業績推移(連結)



開発テーマの状況

	開発コード	適応症	開発段階	承認予定 (年)	備考
※ 1	KP-103 (IDP-108)	爪真菌症	申請中	2013	外用剤 海外ではバリエント社が米・加にて 申請中
2	KCB-1D	歯周病	PⅢ	2015	bFGF
3	KCB-1B	骨折	PⅡ終了 次相準備中		bFGF
4	TRK-100STP	腰部脊柱管狭窄症	PⅡ	2016	東レ株式会社と共同開発 「ベラサス」効能追加
5	SI-657	腱・靭帯付着部症	PⅡ	2016	生化学工業株式会社と共同開発 「アルツ」効能追加

※: 前回ミーティングから変更のあったもの

2013年3月期損益計画(連結)

(百万円未満切捨)	2012年 3月期 実績	2013年 3月期 計画	増減	前期比 (%)
売上高	87,997	88,900	903	101.0
営業利益	15,180	15,400	220	101.4
経常利益	14,803	14,900	97	100.7
当期純利益	8,282	9,300	1,018	112.3

■ 通期損益計画は当初計画の通り

■ 期末配当は22円(2円増配)とし、年間44円(4円増配)を予定

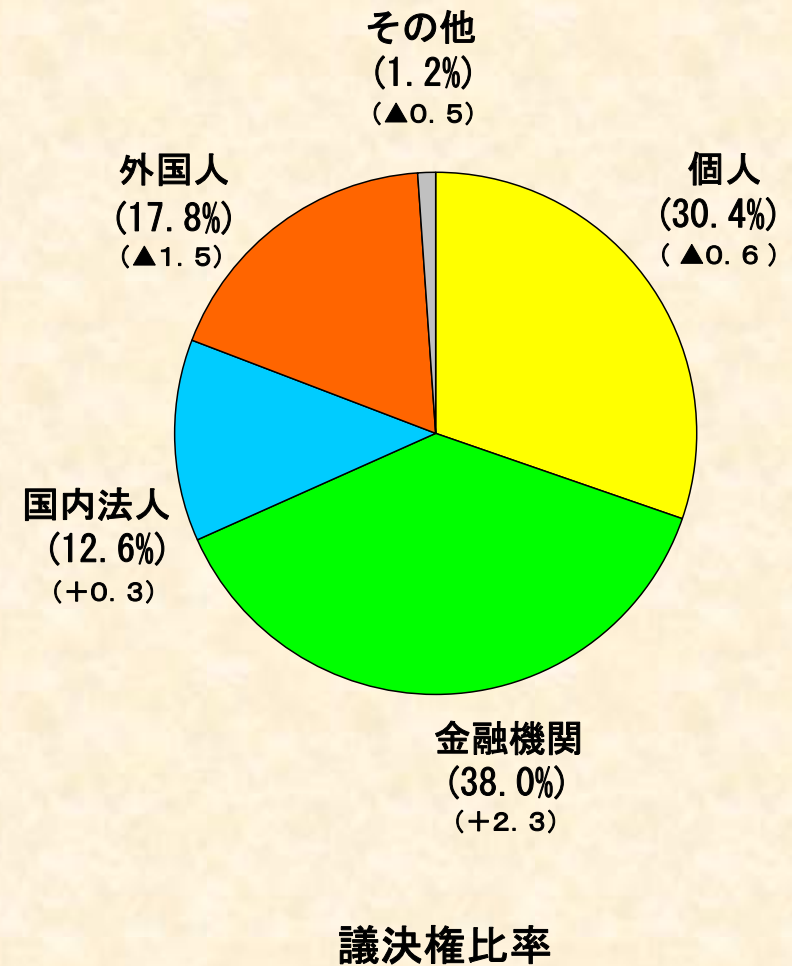
医薬品・医療機器の売上計画内訳

(百万円未満切捨)	2012年 3月期 実績	2013年 3月期 計画	前期比 (%)
アルツ	31,836	32,300	101.5
セプラフィルム	9,967	10,600	106.4
アドフィード等	7,473	6,800	91.0
プロサイリン	5,404	5,000	92.5
リピディル	4,118	4,300	104.4
フィブラストスプレー	3,934	4,000	101.7
エブランチル	2,139	2,200	102.9
ジェネリック医薬品計	8,520	9,900	116.2

- **アルツ**
「変形性膝関節症」への疾患啓発活動を更に充実させ、市場の拡大を推し進める
- **セプラフィルム**
消化器外科、産婦人科への各種使用方法の提案により、浸透率を上げる
- **リピディル**
脂質関連ガイドライン情報の活用により、更なる拡大を図る
- **フィブラストスプレー**
創傷関連ガイドライン情報の活用により、更なる普及を図る
- **ジェネリック医薬品**
今年6月発売の新製品をはじめ、既存製品の伸びにより更なる成長を目指す

大株主一覽表(2012年9月末)

	会社名または氏名	持株数 (千株)	議決権 比率 (%)
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5,629	6.6%
2	東レ株式会社	4,589	5.4%
3	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,972	4.7%
4	株式会社みずほ銀行	3,686	4.3%
5	農林中央金庫	3,686	4.3%
6	科研製薬従業員持株会	1,718	2.0%
7	日本生命保険相互会社	1,700	2.0%
8	メロンバンク エヌイー アス エージェント フォー イツ クラ イアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	1,397	1.6%
9	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,351	1.6%
10	共栄火災海上保険株式会社	1,248	1.5%



※自己株式数: 15,514千株